

守山まるごと活性化 議事要旨

作成者: 大崎

会議名: 平成 30 年度 第3回小津学区まるごと活性化プランCプロジェクト会議

日時: 平成 30 年6月 14 日(木)19 時 30 分から

場所: 小津会館1階 会議室

出席者: 三品部会長、仲村副部会長、推進員、川那辺館長、大崎主事

議題

1. 看板設置の候補地について
2. 看板設置の概要について
3. フォトコンテストについて

会議要旨

内容

協議事項

(1) 看板設置の候補地と各所の概要について

＜候補地の選定と看板設置の概要について事務局より説明＞

○選出した候補地についてどうか。また、遊歩道の整備は小津学区を周遊する道をつくるという狙いがあり、今回の候補場所はその沿線から選出したが、金森や三宅地域の住民としてはどうか。

→学校への設置は、児童に小津に親しんでもらうという目的が明確であるが、遊歩道へ設置したとして果たしてどれだけの人が看板を見てもらえるのか。

→遊歩道自体がまだ完成していないなかで、どれだけの人がこの道を利用するのか定かではないが、遊歩道と小津学区内の幹線道路の交差する地点に設置することで、東西南北から多くの人が来ることを期待している。

→また、遊歩道が完成すれば、小津クラブをはじめ多くのイベントが計画されることも見込んでいる。

○設置候補地③（小津会館）について、正面入り口の右側か、左側どちらが望ましいか。

→左側に設置すると事務室の窓にかぶる可能性があるが、右側であればこども園の送り迎えの方に見てもらえたり、すでにある掲示板と並べて設置できる等の理由から、部会としては右側を推すが、最終的な判断は事務局に一任する。

○設置候補地④（三宅町地先）について、幹線道路沿いでもなく、人が多く通るようなにも思えない場所であるが、設置の意図が理解できない。

→今後遊歩道を活用したイベントの開催が見込まれるなかで、遊歩道の起点という位置的にも、広く開けたスペース的にも、イベントのスタート地点になることが想定されるため。

→また、新守山川改修工事完了後は金森町（城ノ下団地）が起点となるが、いつ完成するのか目途が立っていないなか、現況にあわせてこの場所とした。

→設置場所周辺は三宅町の住民が多く、また、災害時には金森町周辺の住民が、避難場所であ

る小津小学校へ向かう中継地点となることが想定されるため、かまどベンチを併せて設置する計画としている。

※その他、企業名、散策コースのルート案内を削除すること等を確認した。

(2) フォトコンテストについて

○例年、春夏秋冬をテーマしたミニコンテストと、ふれあい広場において最優秀賞を選出するフォトコンテストを計5回開催しているが、今年度はどのような形ですれば良いか。

＜例年、募集作品数を集めることに苦労していることをふまえて次のように決定する。＞

- ・募集の回数は5回では多すぎるので、ふれあい広場と春先（2～3月頃）の2回開催とする。
- ・テーマに関して、季節にはこだわらない。「小津のたからもの」ではあやふやな感があるので、「新守山川遊歩道」や「小津から見た外の風景」など、切り口を変えたテーマの設定を検討する。
- ・例年、同じ方からの応募が多数を占めるなか、作品の応募数を増やすため周知方法を検討する。

(3) まちかどウォークについて

- ・前回決めたように秋口と春先の計2回開催する。
- ・小津学区内のコースは大方歩いた感があり、参加者数を増やすためにも、新たな事業（子どもやファミリー向け、玉津学区と合同で行う等）を検討する必要がある。

→玉津学区であれば諏訪屋敷をはじめ見るところが多くあり、距離的にも可能な範囲であることから賛成の声があがる。

※玉津学区と合同開催が可能かどうかは、次回の部会までに事務局で確認をしておく。

- ・新守山川遊歩道の完成にあわせて、そのルートを歩く案も出された。

決定事項	・看板設置場所と概要 ・フォトコンテストの開催（ふれあい広場と春先の計2階回） ・まちかどウォークの開催（秋口と春先の計2回） 玉津方面を訪れる
次回以降について	・まちかどウォーク、フォトコンテストの開催日程を決定する